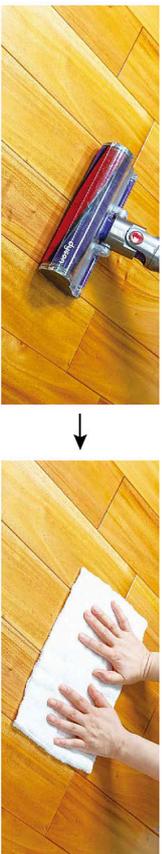


# お手入れ方法

## 日常のお手入れ

### 日常のお掃除は...



- 掃除機でゴミやほこりを取り除き、やわらかい布でから拭きしてください。
- オイル塗膜品は、水拭きすると毛羽立ち、変色・退色、反り・曲りなどを引き起こすことがあるため、極力から拭きのみにしてください。
- UVオイル塗膜品・UVコート塗膜品は、かたく鋭った水拭きでも大丈夫です。水拭き後はすぐにから拭きしてください。

### から拭きで取れない汚れは...



から拭きで取れない汚れは、水で濡らしてからく鋭った雑巾で拭いてください。雑巾はよく絞り、水気が残るような雑巾が好ましくないのでください。また、水拭き後はすぐにから拭きしてください。

かたく鋭った水拭きでも取れない汚れには、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で濡らしてからく鋭った雑巾で拭くか、推奨クリーナーをお試しください。使用方法は各クリーナーの説明書を参照ください。(木目の内部や表面加工の溝などに入り込んだ汚れは取り切れないことがあります)

### ⚠️ ご注意

#### 水濡れ(シミ)



【特にオイル塗膜品】  
フローリングに水分や汚れが付着するときにシミになります。(特にオイル塗膜品) 放置せず、すぐに拭き取ってください。シミができてしまったら上記の方法で取れない場合は、後述の「日常のお手入れの方法で取れない汚れやシミ...」の方法をお試しください。

#### フローリングワイパー



【ラタイン】  
塗膜の種類に関わらず使用できますが、木目にひっかかったり、まれに変色、退色を引き起こすことがあります。

【ウェットタイプ】  
オイル塗膜品には使用できません。

UVオイル塗膜品・UVコート塗膜品には使えますが、過度の使用はお控えください。水分が残っている場合は、すぐに拭き取ってください。また、長時間同じ場所に置いたままにすることは避けてください。変色、退色を引き起こすことがあります。

#### スチームクリーナー



塗装の種類に関わらず絶対に使用しないでください。

## 定期的なワックスがけ

- ご入居後、定期的にワックスがけをおこなうことにより、フローリングを汚れや水分などからある程度保護しより長持ちさせることができます。必要に応じて、ワックスがけをおこなってください。(ご使用状況などによりですが、約1年ごとが目安です)
- オイル塗膜品はワックスがけを推奨します。UVオイル塗膜品・UVコート塗膜品はワックスがけがなくても構いません。
- ワックスがけをするときはフローリングにワックスがけ液が滲み出ることがあります。(自分ない部分などで試し塗りをしてください)
- ワックスがけの際は、ちり、ほこりを取り除き、推奨クリーナーでクリーニング作業をおこなった上で、下記の推奨ワックスを薄く塗ってください。適切なワックスを使用したり、多量にまき撒かして使用する、フローリングの品質を著しく損なうことがありますので、絶対にしないでください。詳しい塗布方法はワックスの説明書に記されています。

### 推奨クリーナー・ワックス

塗料種類	推奨クリーナー	推奨ワックス	定期的なワックスがけ	お問い合わせ先
リネオオイル	「ワックス」または「ケアセット」		推奨	弊社 TEL:(092) 930-7855
オスモオイル	「ワックスプロテクター」	「ワックスプロテクター」	推奨	オスモエー・ツル(株) TEL:(0794) 72-2001
クラフトオイル		-	推奨	弊社 TEL:(092) 930-7855 「Hydro Cleaner」 1L ¥12,000/本
春風オイル	-	「#701クワイヤー」	推奨	カンヌー・エント(株) TEL:(06) 6392-0151
ボナオイル	「Bonav」	「Bonavプロオイル」	推奨	(株)オカベ TEL:(0763) 56-6940
ナチュラウッドコート	「天然由来の成分が主成分のクワイヤー」	-	-	(株)リッレイ TEL:(03) 3541-5955
UVオイル塗膜品	「天然由来の成分が主成分のクワイヤー」	「天然由来の成分が主成分のクワイヤー」	可	
UVコート塗膜品	「オイル系クワイヤー」	「フロアリング専用ワックス つやなし」	可	(株)リッレイ TEL:(03) 3541-5955
UVコート塗膜品 (複合フローリング)	「オイル系クワイヤー」	「天然由来の成分が主成分のクワイヤー」	可	
UVコート塗膜品	「オイル系クワイヤー」	-	-	

※ナチュラウッド塗膜品・UVコート塗膜品・TSVコート塗膜品は、抗ウイルス・重汚行・滑り防止などの特殊性能が剥落することがあるため、ワックスがけは避けます。

※床裏面封鎖フローリングは、床裏面使用時にワックス成分が滲り出てくることがあるため、ワックスがけは避けます。